

平成 22 年 8 月 23 日

各 位



【コード番号 8589 大証一部】

代表取締役社長 常峰 仁

## Pay-easy、デジタルコンビニによる「即時決済、即時請求」サービス開始

～“請求金額の早期回収”で提携先さまの利便性が飛躍的に向上～

当社の連結子会社である株式会社アプラス(以下:アプラス)は、平成 22 年 8 月 10 日より、決済分野において、従来の請求書やコンビニバーコード払込票の作成、郵送などの時間とコストを大幅に短縮する「即時決済、即時請求」サービスの提供を開始いたしました。

記

### 1. 趣旨

アプラスにおける決済事業では、「オートネットサービス(口座振替)」、「コンビニ集金代行サービス」、「家賃サービス」など多彩なシステムで提携先さまの集金業務を代行し、口座振替登録がインターネット上で完了する「web 口座振替受付サービス」を付加するなど利便性の向上を図ってまいりました。今般、既存の多彩なシステムに加え、特に EC 市場でご利用いただける Pay-easy、デジタルコンビニによる「即時決済、即時請求」サービスを開始することで、決済事業における利便性をさらに向上させ、新たな収益機会の拡大を図ってまいります。

### 2. サービス概要

同サービスは、Pay-easy、デジタルコンビニと、アプラスが提携している幅広い金融機関等のネットワークを活用したサービスです。サービスの概要は下記のとおりです。

- (1)「Pay-easyー情報リンクサービス」による、「即時請求、即時決済サービス」
- (2)「デジタルコンビニ(PC・モバイル)」による「即時請求サービス」
- (3)「Pay-easyーオンラインサービス(電話・FAX)」による「“支払キー”還元サービス」\*1

\*1 電話・FAX による Pay-easyーオンラインサービスを活用することで、“支払キー”(支払いに必要なお客さま番号など)の還元により、インターネットネットバンキングの他、ATM、金融機関窓口でのお支払いも可能となるサービス

### 3. 導入メリット(提携先さま)

- (1) Pay-easy、デジタルコンビニは 24 時間即時請求が可能です。請求書やコンビニバーコード払込票の作成、郵送などにかかっていた時間を大幅に短縮できるため「請求金額の早期回収」が可能となります。
- (2) Pay-easy は 24 時間即時請求に加えて請求と同時に即時決済が可能です。決済情報はほぼリアルタイムで確認することができるため、入金確認までに要する時間を大幅に短縮することができます。
- (3) Pay-easy、デジタルコンビニとも、請求情報がインターネット上で表示されるため、従来の請求書の作成と郵送が不要であり、「請求事務コストが削減」できます。

当社グループは、今後も新生銀行グループにおける消費者向けファイナンスの主要な子会社グループとして、中期経営計画を着実に遂行することで、新生銀行グループ全体の企業価値の拡大に貢献してまいります。

以上

## 1. Pay-easy について

### (1) Pay-easy とは

ペイジーとは、各種料金などの支払いを、金融機関の窓口やコンビニのレジに並ぶことなく、パソコンや携帯電話、ATM から支払うことができるサービスです。ペイジーは、「ペイジー」採用の企業サイトなどでの料金の支払いや「Pay-easy マーク」が付いている請求書での支払いで活用できます。

### (2) 取扱金融機関(予定)

都市銀行－4 行、ゆうちょ銀行、地方銀行－53 行、ネット銀行－2 行、信用金庫－250 信金  
労働金庫、信用組合－16 信組

取扱い金融機関などは今後更に拡大される予定です。

## 2. デジタルコンビニについて

### (1) デジタルコンビニとは

デジタルコンビニとは、各種料金などの支払いの際に受付番号を PC に表示し、それを顧客がメモとして控え、コンビニ店舗の KIOSK 端末\*2 を経由して支払を行うサービスです。

### (2) 取扱コンビニ

5 コンビニチェーン－37,000 店舗 \*3

\*2 コンビニなどに設置されるタッチパネル操作を通じて必要な情報にアクセスしたり、様々なサービスを利用できる情報端末

\*3 「月刊コンビニ」平成 22 年 3 月号より

本サービスに関するお問い合わせ  
(株)アプラス 事業部門 企画担当 TEL:03-5229-4094

報道機関からのお問い合わせ先  
(株)アプラスフィナンシャル 企業戦略部 金崎(TEL:03-5229-3986)